

文3 「京にはあら①じ。②東の方に

住む③べき国求めに。」とて行

きけり。

問一 傍線部①は、「む」（推量・

意志など）の打消版で、次の二つの意味を持つ。ここではどちらの意味で使われているか。

ア 打消意志

ないつもりだ。ないでおこう。

※自分の未来

イ 打消推量

ないだろう。

※自分以外の未来

問二 傍線部②の訳は？

ア 東の方角 イ 東国の方

文3 「京にはあら①じ。②東の方に  
住む③べき国求めに。」とて  
行きけり。

### 問三

傍線部③の「べし」は「む」  
(推量・意志)の強化版で、  
強めの推量・意志を表す。た  
だし、現代語の「べきだ」に  
言い換えることができる場合  
は、その強さの度合いによつ  
て、次のいずれかの意味にな  
る。ここではどの意味になる  
か。

ア 適当

(→のにふさわしい) 強さ..弱

イ 当然

(→ねばならない) 強さ..中

ウ 命令

(→せよ) 強さ..強

このページは空白ページです